

## 開催主旨

地球上には現在、3000万種といわれる生物がいると言われていますが、その生きものたちは人間の手による自然破壊や乱獲・外来種等の持ち込み、そして温暖化などの影響により生態系が崩され、年間推定40,000種が絶滅の危機に瀕しています。

2010年10月には『COP10』（生物多様性条約第10回締約国会議）が愛知県名古屋市で開催されます。今年は、国連の定める「国際生物多様性年」でもあり、世界中の人たちが生物多様性について考え、行動をおこす年でもあります。

そこでこのたび、**日本のランドマークである東京タワーにて国際生物多様性年特別企画『すばらしき地球の仲間たち in 東京タワー』を平成22年9月25日から平成23年1月10日にわたり開催いたします。**

本イベントでは、粘土造形作家の宮川アジュ氏による絶滅動物の実物大作品を展示した「絶滅動物ミュージアム」を展開いたします。また、COP10名誉大使であるMISIAさんの生物多様性をめぐる旅を紹介するほか、イベントの主旨に賛同頂いた企業、団体による出展コーナー、飲食、オリジナルグッズの販売、ワークショップなど多くの方楽しんで頂けるコーナーもあります。そのほか、賛同アーティストや著名人によるチャリティオークションやトークライブのほか、生アコースティックライブの演奏等も実施致します。

生物多様性について多くの人たちに「興味をもっていただき」「そして世界で起きていることを知ってもらい」「それら起こっている原因を理解し」「身近なことから行動を起こす」きっかけ作りをしてまいります。

## 開催概要

■名称	国際生物多様性年 特別企画 SATOYAMA BASKET すばらしき地球の仲間たち in 東京タワー
■日時	平成22年9月25日（土）～平成23年1月10日（月・祝） 10:00～20:00
■会場	東京タワー フットタウン1F特設会場、club333 (東京都港区芝公園4-2-8、最寄り駅：大江戸線「赤羽橋」徒歩5分、日比谷線「神谷町」徒歩7分)
■主催	すばらしき地球の仲間たち実行委員会 構成メンバー：一般財団法人mundef/日本電波塔株式会社（東京タワー）/株式会社シミズオクト/びあ株式会社
■協力	生物多様性条約事務局
■後援	港区/港区観光協会 他予定
■内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆生物多様性について、より多くの人たちに興味を持ってもらい、かつ分かりやすく知ってもらうため、粘土造形作家の宮川アジュ氏と協力し、絶滅動物や絶滅危惧種動物の実物大オブジェのミュージアムを展開。</li> <li>◆COP10名誉大使であるMISIAさんの活動を紹介する「SATOYAMA BASKET」と連動し、希少動物の生息地を紹介するほか、日本を始め世界各国、地域、企業や団体の環境保全活動における取り組みを紹介。</li> <li>◆世界の子供たちによる国連写真展「SEE THE BIGGER PICTURE」のほか、世界各国や地域、企業、団体が取組んでいる環境や動物保護活動を写真パネルやキャプションで紹介。 また、環境省動画チャンネルの番組を配信し、日本の活動を紹介。</li> <li>◆その他、生物多様性年をテーマにした映像及びビジュアル演出/展示・体験ワークショップ/ライブ演奏/飲食/物販の展開等。</li> </ul>
■入場料	当日600円/団体（20名以上）500円、前売り500円 ※3歳児以下の入場は無料となります。
■お問い合わせ	事務局(株)シミズオクト TEL：03-3360-7168
■公式H.P	<a href="http://chikyunonakama.com/">http://chikyunonakama.com/</a>

## アーティスト紹介

COP10名誉大使 MISIA



© Rhythmedia inc.

## MISIAさんからのコメント

3000万種と言われる無数の生きものが35億年の進化を経て、世界中に存在し、そして私たちは、その命の恵みを頂きながら生きています。

すべての生き物には存在意義があり、その繋がりを大切に生きていくことが、私たちの真の幸せにつながります。

2010年は国際生物多様性年であり、10月には名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されます。その記念すべき2010年に、このイベントが東京タワーで開催できることを、うれしく思います。

このイベントが、より多くの方々に生物多様性を知っていただくきっかけになることを心より願っております。

LIFE IN HARMONY INTO THE FUTURE

## 【宮川アジュ】 造形粘土作家・戦う芸術家



1965年、信州に生まれる。小学生のころ、芸術家になることを意識する。服飾専門学校を卒業後、約30ヶ国を2年間にわたり旅をして芸術家になることを決意。現在、粘土による立体制作を中心に活躍中。主な作品は出版「絶滅動物ミュージアム」、「もうひとつのどうぶつえん」(ひさかたチャイルド)、DVD「もうひとつのどうぶつえん」(テレビマンユニオン、角川映画)など。

天変地異による環境の変化や生存競争の敗北など、自然の流れや時の流れて絶滅してしまった生き物はしやわせじゃないだろうか。

## 宮川アジュさんからのコメント

1600年以降に絶滅した生き物は700種以上と言われているが、その生き物たちが絶滅した原因に、必ず何らかの形で人間が関わっているのです。

恐竜はみんな知っているけど、その後に絶滅した生き物はどれだけ知っているだろう。。。

「地球上から消えてしまったが、記憶からは消さない！」そんな気持ちで作り続けてきたアジュテイストの絶滅動物&危惧種の粘土造形が実物大になって東京タワーに蘇った事はとてうれしい限りです。

みなさんにとって、「こんな動物が地球にすんでいたんだ!」「この動物が絶滅しそうなんだ!」って言う興味を持つ入口になってくれれば最高です。

## 会場全体イメージ(予定)



